
誰かが得をすれば、誰かが損をする。 [二百文字]

尖角?...

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誰かが得をすれば、誰かが損をする。 「二百文字」

【Nコード】

N5097T

【作者名】

尖角? . . .

【あらすじ】

損得が存在するので悩み苦しむ。
そんな1話を表しました。

（前書き）

誰かが得をすれば、誰かが損をする。

これは経済の授業で習いました。

その時に、これはネタになると思って書きました。

誰かが得をすれば、誰かが損をする。

これは自然の摂理だが、いささか不満を抱くことがある。

それはなぜだろう？

俺が得をしたら、必ず誰かが損をするだろうか？

そんなことはないはずだ。

他人が同じ土俵に立っていれば、損得は生まれるかもしれない。

しかし、俺一人しかいなかったら？

誰も損はしないはずだ。

何の犠牲も生まれない。

そんな世界に憧れる。

一人じゃないと叶わないのか？

所詮は夢で終わるのか？

俺には疑問が残るばかり。

（後書き）

何の犠牲の上にも立っていない。

これは現実にはありえないこと・・・。

人は生きることでも何かを犠牲にしている。

そんなことを振り返ることができる1話だったのでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5097t/>

誰かが得をすれば、誰かが損をする。 [二百文字]

2011年11月16日07時52分発行